

M 氏邸訪問記(2017.9.27)

1. はじめに

M 氏邸訪問は、[前回の訪問](#)以来ということになりますが、新しく導入されたカートリッジとトランスの効果を確認させていただくということで、ST 氏とともに訪問してきました。

2. M 氏邸のシステムの概要

M 氏邸のシステムは前回の訪問以降、下記が導入されています。

カートリッジ：MUTECH RM-KANDA 零 (ZERO)

トランス：My Sonic Stage1030

電源タップ：中村製作所 NXP-001

M 氏はかねてから、Low Impedance/High Output のカートリッジおよびそれにマッチングするトランスを物色されていましたが、河口無線における[カートリッジ試聴サービス](#)の結果を受けて、入手に踏み切ったということです。また、アモルメットの効果を熟知されていて中村製作所のアモルメット組み込み電源タップも導入されました。

MUTECH - RM-KANDA 零 (ZERO)



<http://www.kaji-lab.co.jp/index.html>

この MUTECH - RM-KANDA 零 (ZERO) は河口無線で試聴した My Sonic のカートリッジと設計思想が良く似たもので、M 氏が以前から目をつけておられたものです。特徴としてはカートリッジの引き出しケーブルは直付けで、これを My Sonic のシェルに取り付けています。

My Sonic Stage1030



<http://www.mysonic.jp/>

この Stage1030 は河口無線で試聴した My Sonic のトランスのワンランク上の機種です。特徴として Floating と Ground の切り替え SW があり、Floating にするとケーブルはアンバランスケーブルのままですが、事実上バランス接続になります。

当方も同様の認識の下に興味があって、使用中のトランス Ortofon ST-7 とカートリッジの Ortofon SPU Royal N を持参して聴き比べをさせていただくことにしました。



3. M 氏邸のシステムの試聴経過

最初に耳慣らしということで、ラベルのスペイン狂詩曲、ピアノ曲、ケルンコンサートなどの CD を聴かせてもらいましたが、電源ボックスをクリプトンから中村製作所のアモルメット組み込みの NXP-001 に替えた効果が出ており、これまでに比べてすっきりとしたクリアな音になっています。ピアノについても 1910 年製ペトロフやベーゼンドルファーの音色が正確にできるようになったとのこと。

ここで、RM-KANDA 零と Stage1030 の組みあわせのアナログに切り替え、ケルンコンサートとクララ・ハスキルのモーツァルトを聴かせていただきましたが、音の品位がこれまでと随分違うことが分ります。また、ST 氏も S/N 感が非常に向上しているとのこと感想で、これは Low Impedance/High Output のカートリッジと Floating 接続にしたトランスの効果と言えます。

ここで、ケルンコンサートのオリジナル 3 チャンネルからのカッティングのマーキュリーのオリジナル盤、2 チャンネルミックスダウンからのフィリップスのオリジナル盤、

国内盤と聴かせてもらいましたが、カートリッジとトランスの効果で国内盤も悪くはないのですが、マーキュリーのオリジナル盤が演奏の実態感があるように感じ、フィリップスのオリジナル盤も響きの豊かさが魅力的でした。ST氏はフィリップスのオリジナル盤、当方はマーキュリーのオリジナル盤が好みとし、好みはいろいろあると思いますが、こういった違いが良く分かりやすくなったことが、新しいカートリッジとトランスの効果と言えます。

さらに、ムーティ／フィラデルフィアの春の祭典、リヒテルのベートーベンの12番、シュタルケルのチェロの小品集、カーゾンとウイーン8重奏団の鱒と聴いていましたが、どれをとっても品位が高く、盤の持ち味を十全に捉えている印象です。

ここでカートリッジはそのままに、トランスを持参した価格が1/10の格下のST-7に替えてみましたが、比較のしようがないほど、貧弱な音になります。トランスを元に戻し、カートリッジをSPU Royal Nに替えてみますと、SPUらしい音がでており、かなりのパフォーマンスを示してくれますので、My Sonicのトランスの効果が大いことが分ります。

カートリッジも元に戻し、カーゾンとウイーン8重奏団の鱒と対比する意味で、ブレンデルとクリーブランドの鱒を聴かせてもらいましたが、演奏の違いが良く分かります。ST氏の希望でTake5を聴き、楽器の質感のリアルさを確認して、今回のM氏のリニューアルしたシステムの試聴の締めくくりとしました。

4. まとめ

新しいカートリッジとトランスの組み合わせは、これまでのM氏のアナログ再生システムのパフォーマンスを数段引き上げており、持参したものと比較試聴の結果は、今後の拙宅のアナログ再生システムの向上のために良い参考になりました。

以上